

「地域交流ラボ活動考察」

世田谷地域交流ラボプロジェクト
昭和女子大学 はぶ研究チーム（福田・狩野）





2023年から2025年の約2年間
さまざまなイベントへの参加
多くの方との対話や経験を通して得た知見から
地域と学生をつなぐプラットフォーム構想、
昭和女子大学の学生視点から現在状況
について考察を行ってきた



目次

01

これまでの活動

02

ハブ構想計画概要【HABSAN】

03

私たちが直面した課題

04

今後の展望

～学生と地域が「つながる」には～

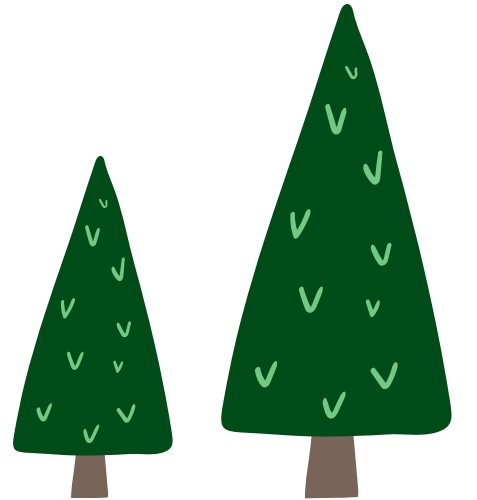


Table of
Contents

これまでの活動



池尻五町会連合納涼盆踊り大会



活動を通して
ハブ構想について
話ようになる

池尻地区車座集会



昭和女子大学キャンパス周辺
街歩き太子堂地区



活動の記録

2023.7~2025.1

7.21



世田谷区役所清掃・リサイクル部事業課
ヒアリング



8.8

8.9

8.19

8.25

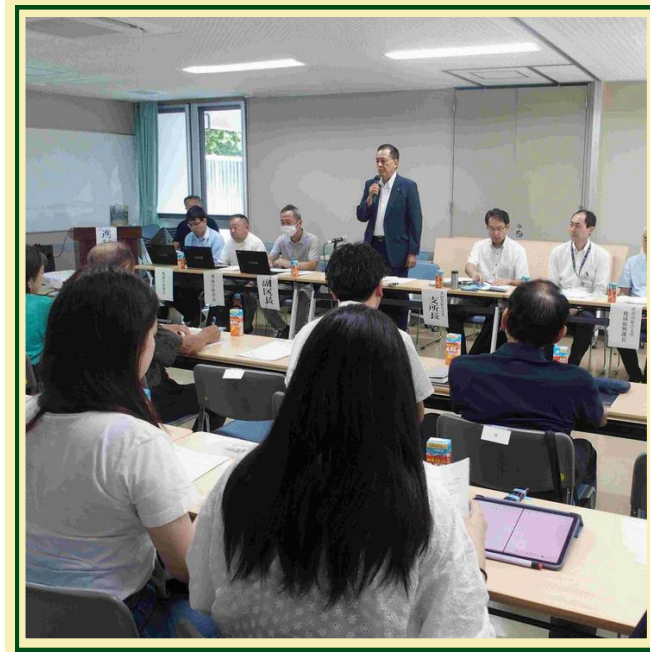


日帰りバスハイク/夏季レクリエーション



8.31

太子堂地区車座集会



活動の記録

2023.7~2025.1

グループ内でこれまでの活動を
振り返り、現実化に向けて活動し始めた

9.3

池尻小・避難所運営訓練

9.10



10~12月



1.13

太子堂地区防災塾

活動の記録

2023.7~2025.1



サークル申請・審査を行うもさまざまな要因が重なり白紙になる

4~6月

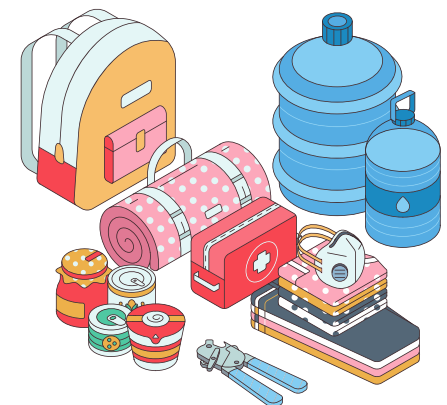
6.15

太子堂小学校・避難所運営訓練



池尻地区街歩き

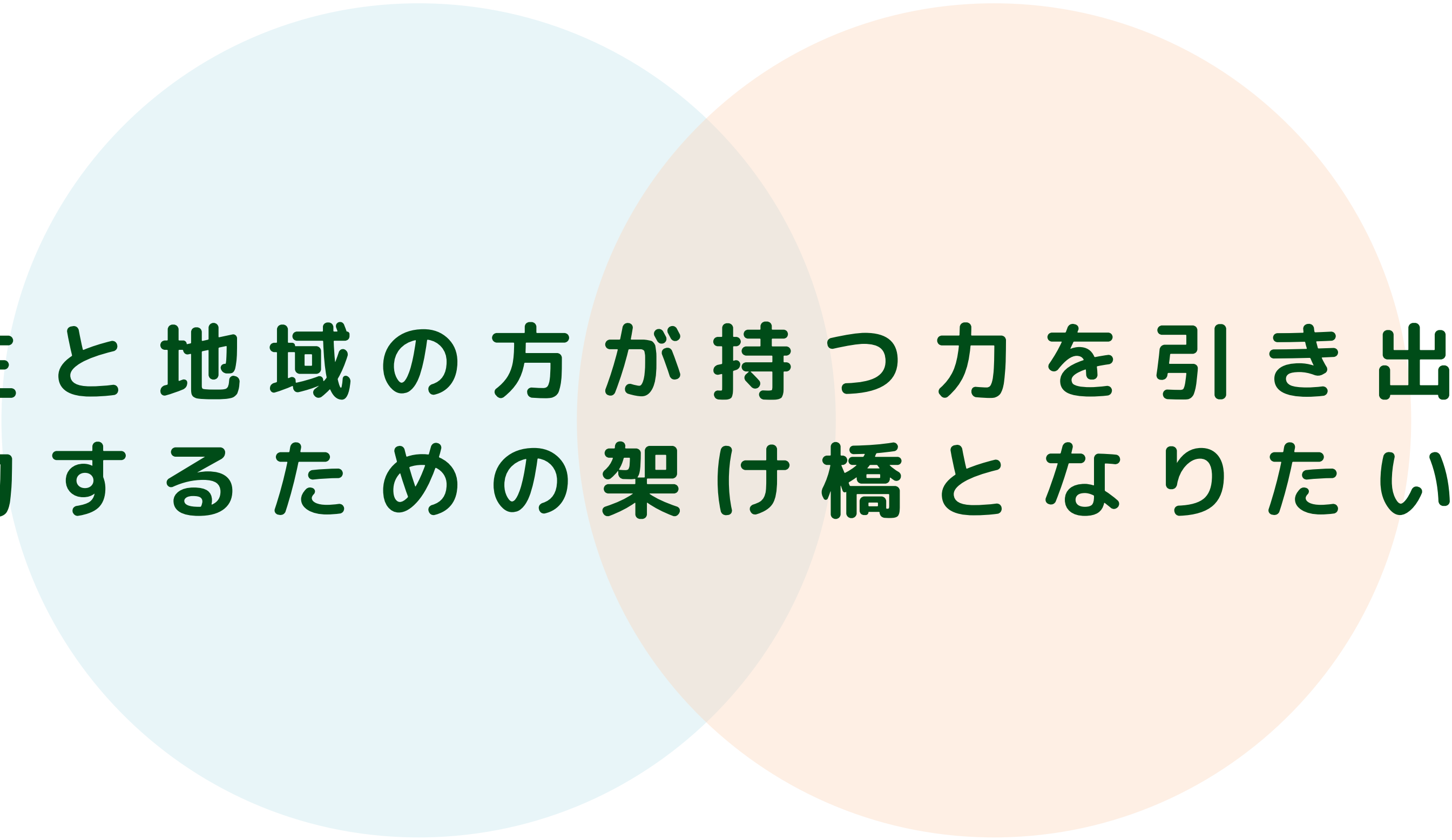
9.10



10~12月

失敗を踏まえ、これまでの活動を振り返り、整理した

ハブ構想計画概要【HABSAN】



学生と地域の方が持つ力を引き出し、
協力するための架け橋になりたい

ハブ構想計画当初【HABSAN概要】

まず継続的な活動が行える

プラットホーム（拠点）

サークル設立に重きを置くようになっていった

私たちが直面した 課題

01

大学内での連携

02

目的の曖昧性



01

大学内での連携

大学と私たちの間でのサークル化に対する
考え方のギャップが大きかった



今年度中のサークル化は
難しいという判断に

02

目的の曖昧さ



気づき

**「集ること」を目的としたプラットホームは
集りにくい！！**

**「踊る」、「演奏する」、「描く」などの
具体的な目的があってこそ人は集る**

今後の展望

～ 学生と地域が継続的に
交流・つながるには～

地域交流ラボの魅力とは

**その場に足を運ぶからこそ得られる
多くの発見と人との出会い**

地域が「若者（学生）」にとって居場所
となることは



「楽しい」空間をデザインする

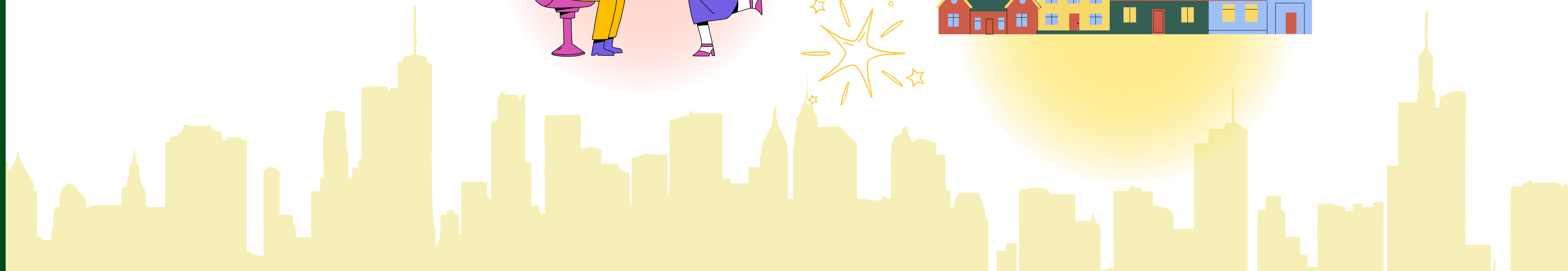
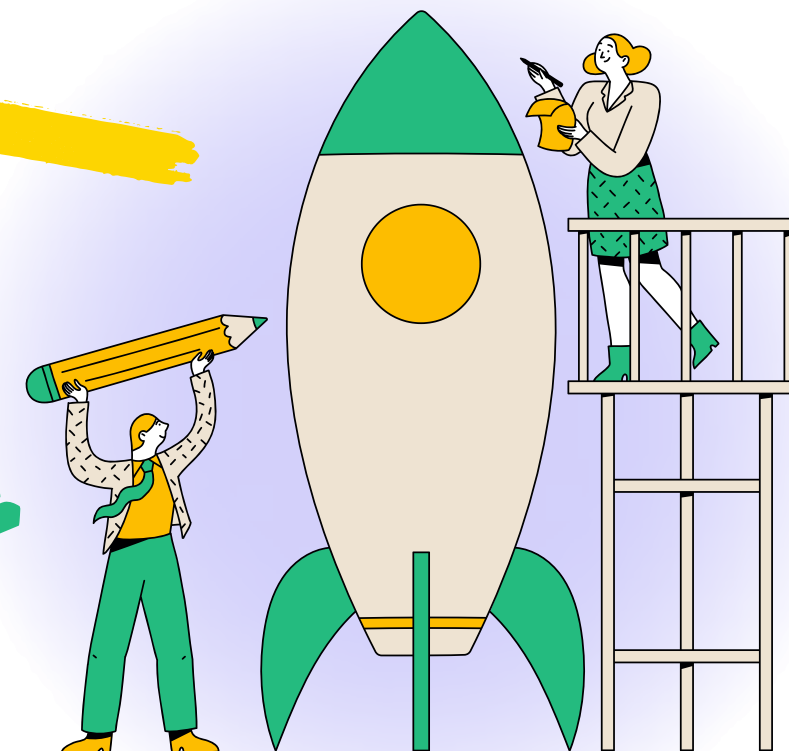
地域が「若者（学生）」にとって居場所
となることは

**伝統もまた、
その場の人々が作る
「楽しさ」
によって継承されてきた**

03

さいごに

交流とワクワクを
実現できるまちに



THANK YOU!

ありがとうございました